

知的好奇心

指導方針

「なぜ？」という好奇心を持ち、どんな物事に対しても自分から意欲的に取り組む姿勢を持てる状態をつくります。また疑問に向き合い、深め広げる意欲を育みます。

小学生の6年間は人生の中でも大きく好奇心が育つ時期です。好奇心は身の回りからさまざまな領域に触れ、感じることで育まれます。それが大人になっても新しいものやことに直面したとき、「知りたい」「分かりたい」と思う姿勢になります。「小学講座」の知的好奇心は「自然」「社会」「科学技術」「文化」の4つの領域から「興味関心を持つ」→「疑問を感じる」→「自分ごと化して考える」→「深める広げる」の思考ステップで知的好奇心を育みます。1学年ごとの発達段階に合わせた領域(テーマ)と思考ステップで6学年を設計。デジタル化・グローバル化が急速に進むお子様の今後の未来に必要な「正解がない課題に対する問題解決力」の素地を育みます。

知的好奇心の展開例

① 興味関心の醸成(驚き)



② 疑問を持つ(なぜ?)



③ 疑問の自分ごと化
(+解決スキルを身につける)



④ 知識を深める・世界を広げる